

景況は持ち直しの動きあるも、経費負担増で収益を圧迫

人材確保が課題となるなか物価高騰で賃上げに苦慮

～景況 DI 値は、前年同月比13.2ポイント上昇のマイナス7.9～

*DIとは景況の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 3月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI 値前月比10.5ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比21.0ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比26.3ポイント上昇のプラス57.9、前年同月比同水準のプラス31.6。

販売（受注）価格 製造業では、DI 値前月比21.1ポイント低下のプラスマイナス0、前年同月比15.8ポイント低下のプラス21.0。非製造業では、DI 値前月比同水準のプラス15.8、前年同月比5.2ポイント上昇のプラス26.3。

収益状況 製造業では、DI 値前月比26.4ポイント上昇のマイナス5.2、前年同月比10.6ポイント上昇のマイナス52.6。非製造業では、前月比21.1ポイント上昇のプラス21.1、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス31.6。

資金繰り 製造業では、DI 値前月比10.6ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比同水準のマイナス31.6。非製造業では、前月比10.5ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比同水準のプラス5.3。

雇用人員 製造業では、DI 値前月比5.2ポイント低下のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント低下のマイナス15.8。非製造業では、前月比5.3ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比15.8ポイント低下のマイナス5.3。

景況 製造業では、DI 値前月比15.8ポイント上昇のマイナス26.3、前年同月比同水準のマイナス42.1。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラス21.1、前年同月比26.3ポイント上昇のプラス26.3。

県内中小企業の景況は、全業種景況 DI 値は、前月比15.8ポイント上昇のマイナス2.6、前年同月比13.2ポイント上昇のマイナス7.9となった。製造業では、引き続き多くの業種で電気料金や原材料価格の上昇、燃油高騰に伴う輸送コストの増加が続いており、価格転嫁による収益確保も追いつかず先の見通せない状況が続いている。非製造業では、新型コロナウイルス感染状況が落ち着くなか、全国旅行支援の追い風により観光関連を中心に需要の回復傾向が見られ、業況は好調に推移した。また、飲食関連では、歓送迎会の時期を迎え賑わいが戻りつつある。県内景況は、コロナ禍以前の水準まで緩やかに持ち直す動きが見られたが、総じて電力消費や原材料仕入れの負担が大きい製造業を中心に収益確保に苦慮しており、厳しい状況が続いている。また、人材確保が喫緊の課題となっているなかで物価高騰をはじめとする経費負担の増加が賃上げに踏み切れない大きな要因となっており、加えて再度の値上げに伴う需要減も懸念されるなど、依然として先行き不透明な状況となっている。

2. 企業倒産（株帝国データバンク調べ）

3月の全国倒産は、件数800件で、前年同月を36.3%上回り、11カ月連続で前年同月比増加となった。負債総額は1,435億1,400万円（負債総額1,000万円以上）で、前年同月から2ヵ月ぶりに20%以上の大幅減となった。不況型倒産の構成比は77.1%（対前年同月0.1ポイント増）を占めた。

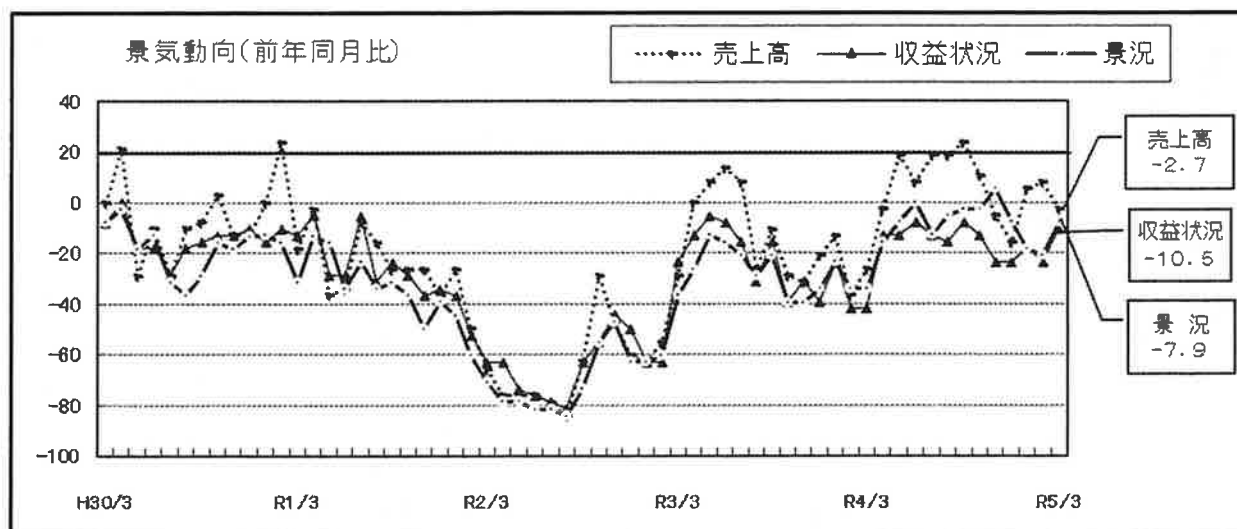
一方、3月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数2件（前月2件）、負債総額は8,200万円（前月9億3,000万円）であった。

3. 労働情勢（鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報2月分」）

鳥取県の2月の有効求人倍率（パートを含む速報値）は1.51倍（季節調整値）（全国有効求人倍率は1.34倍）で、前月より0.03ポイント低下。各所別有効求人倍率（原数値）では、鳥取所1.37倍、米子所1.71倍、倉吉所1.85倍。新規求人倍率（パートを含む速報値）は2.56倍（季節調整値）で、前月より0.12ポイント低下した。

新規求人数は、前年同月比3.2%増加し、有効求人数は2.8%増加となった。産業別に前年同月と比較すると、運輸業・郵便業（48.0%）、医療・福祉（21.4%）、宿泊業・飲食サービス業（3.2%）で増加した。

新規求職者数は、前年同月比5.0%増加、有効求職者数は前年同月比0.6%減少となった。パートタイムの有効求人倍率（原数値）は1.56倍で、前年同月を0.03ポイント上回った。新規求人数は前年同月を2.4%上回った。



3月の中小企業景況

前月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	31.6%	31.6%	0.0 10.5	57.9%	0.0%	57.9 26.3	44.7%	15.8%	28.9 18.4
(2) 在庫数量	10.5%	10.5%	0.0 0.0	16.7%	0.0%	16.7 8.4	12.9%	6.5%	6.4 3.5
(3) 販売価格	10.5%	10.5%	0.0 -21.1	15.8%	0.0%	15.8 0.0	13.2%	5.3%	7.9 -10.5
(4) 取引条件	5.3%	5.3%	0.0 10.5	0.0%	0.0%	0.0 5.3	2.6%	2.6%	0.0 7.9
(5) 収益状況	21.1%	26.3%	-5.2 26.4	31.6%	10.5%	21.1 21.1	26.3%	18.4%	7.9 23.7
(6) 資金繰り	5.3%	15.8%	-10.5 10.6	15.8%	5.3%	10.5 10.5	10.5%	10.5%	0.0 10.5
(7) 設備操業度	15.8%	15.8%	0.0 5.3						
(8) 雇用人員	0.0%	10.5%	-10.5 -5.2	10.5%	10.5%	0.0 5.3	5.3%	10.5%	-5.2 0.1
(9) 景 況	10.5%	36.8%	-26.3 15.8	31.6%	10.5%	21.1 15.8	21.1%	23.7%	-2.6 15.8

前年同月比	製 造 業			非 製 造 業			全 業 種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1) 売 上 高	15.8%	52.6%	-36.8 -21.0	42.1%	10.5%	31.6 0.0	28.9%	31.6%	-2.7 -10.6
(2) 在庫数量	5.3%	15.8%	-10.5 -10.5	25.0%	8.3%	16.7 0.0	12.9%	12.9%	0.0 -6.4
(3) 販売価格	36.8%	15.8%	21.0 -15.8	36.8%	10.5%	26.3 5.2	36.8%	13.2%	23.6 -5.3
(4) 取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 0.1	0.0%	21.1%	-21.1 -5.3	2.6%	15.8%	-13.8 -3.3
(5) 収益状況	5.3%	57.9%	-52.6 10.6	42.1%	10.5%	31.6 15.8	23.7%	34.2%	-10.5 13.2
(6) 資金繰り	0.0%	31.6%	-31.6 0.0	15.8%	10.5%	5.3 0.0	7.9%	21.1%	-13.2 0.0
(7) 設備操業度	15.8%	31.6%	-15.8 -36.9						
(8) 雇用人員	0.0%	15.8%	-15.8 -5.3	15.8%	21.1%	-5.3 -15.8	7.9%	18.4%	-10.5 -10.5
(9) 景 況	5.3%	47.4%	-42.1 0.0	42.1%	15.8%	26.3 26.3	23.7%	31.6%	-7.9 13.2

*D I とは、ディフュージョン・インデックスの略。D I 欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I 欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D I を差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製 造 業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料費（卵、粉類等）、エネルギー（LP ガス、電気等）価格の上昇、高止まりにより収益が圧迫されている。製品の値上げが徐々に浸透しつつあるが、依然として経営環境は厳しい。

醤 油⇒ 販売価格の上昇により落ち込んでいた出荷量は味噌・醤油ともに徐々に回復基調にあるが、コロナ禍前の状況までは戻ってきていない。

【繊維工業】

繊維製品⇒ 小規模で操業していた事業所が高齢化等の理由により多数廃業している。光熱費等の高騰に伴う価格転嫁も困難で、厳しい状況が続く。自動車用シートは、自動車用半導体不足により、国内の自動車製造自体が減産となっているため、売上高は減少傾向となっている。

ニット製品⇒ 原材料価格において、原価割合の大きい電力費が大幅にアップしており、国内消費の低調な状況のなか運賃等も今後アップが予想され、価格転嫁が追い付かない状況が続いている。

【家具・装飾品】

⇒ 売上高は前月比同水準となったものの、前年同月比では例年以上に減少した。物流コストや人件費の増加に伴い原材料価格が高騰、小売価格にも影響している。

【木材・木製品】

製 材 品⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で増加した。合板の生産量は前月比でやや減少となった。丸太の出材量は徐々に増加してきているが、価格は弱含み。建築需要は低調で、製材品の動きは鈍い。資材価格の高騰やエネルギー関係の高騰の影響により、資材の動きが非常に悪く、先行き見通しは厳しい。プレカット加工の稼働率は、前月比40%増加、前年同月比10%減少となった。

【紙・加工品】

和 紙⇒ 春の展示会に向けて需要の動きが少しずつ見られるが、昨年からの製品価格値上げに伴う需要への影響により、売上の回復は低調である。

【印 刷】

⇒ 用紙、インキ、電気代等の経費の値上がりが経営に大きく影響している。官公庁向けの売値の値上げが進み、選挙関連等により再度稼働率が上がったことから減収ながら増益となった。

【窯業・土石製品】

生 コ ン⇒ 3月の生コン出荷量は、前月比で6%増加、前年同月比も23%増加となった。東部地区を中心に引き合いが極端に弱く、前年割れが続いている。セメント価格の値上げ、燃料費高騰が収益を圧迫しており、生コン価格への転嫁に苦慮している。こうしたなか若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内では西部に大型案件が続くものの、東部は少なく、県外物件を受注できている事業所は多忙となっている。機械加工は、引き続き自動車関係は依然減産が続いているが、緩やかながらに回復基調にある。人手不足が深刻化するなか、最低賃金上昇による人件費増に加え、光熱費等高騰の影響により収益を圧迫している。

鉄骨加工⇒ 公共工事は地元民間工事の発注は乏しく、企業間で受注量の格差が大きくなっている。県外の工事を受注する企業は半年以上の受注残を抱えているが、顧客が地元のみしかない企業では1～2ヶ月の受注残となっており先行きの不安感が漂い始めた。溶材などの副資材等材料費の高騰、さらには電気代の上昇など工場の負担は大きく、収益に大きな影響を与えている。

金属熱処理⇒ 3月に入り受注量は増えてきたが、前年同月並みまでには回復に至っていない。エネルギー関係部品の受注量の増加が見られるが、その他の自動車、建設機械、家電関係部品においては顕著な動きは見られなかった。業況はエネルギー価格の高騰により厳しい経営状況が続いている。

【電気機械器具】

⇒ 新型コロナの影響は緩和されつつあり、受注は徐々に回復傾向にあるものの、依然として原材料確保の問題が継続している。人員不足のため残業が発生している上に、部材状況に左右され生産計画が安定しない。必要経費の高騰が続くなか、価格転嫁をすべて行うことは困難なため、収益確保は厳しい状況となっている。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、前月比は売上高、取扱数量とも増加している。取扱数量は前年同月比ではわずかに増加したが、単価の低下により売上高は減少した。年度を通して取扱数量、売上高とも前年比で減少しており、依然厳しい状況が続いている。鮮魚関係では、売上高、取扱数量とも前月比、前年同月比ともに大きく増加した。年度を通して取扱数量は減少しているものの、売上高は単価の上昇により昨年度に近づいてきている。下半期は旅館、ホテル、サービス業の再開が進み、売上高、取扱数量とも増加傾向にある。仕入れ・材料費の値上げにより、販売価格へ転嫁せざるを得ない状況が続いている。

中部地区⇒ 備品関係は、前年比で官公庁関連の案件が少なかった。売上高は前月比で増加、前年同月比で同水準となった。

西部地区⇒ 10月、11月からの食料品、消耗品等の値上げによる影響や電気料金の高騰などもあり、個人の実質手取り額低下に伴う需要減少が懸念される。

水産物⇒ 巻き網は好天にも恵まれ、マイワシの豊漁が続き冷蔵庫等の設備稼働も高まったが、ブリ・ハマチ類は不調でありイワシ一色の月となった。近海物については、赤ガレイ・ハタハタの水揚げがまとまらず、例年に比べ減少傾向が見られた。紅ズワイガニは水揚げも前年同月比で3割程度増加し、蟹シーズンの終了・輸入ガニの価格低下等により落ち着いた浜値となった。

リサイクル原料⇒ 価格動向については前月比で横ばい、前年同月比で低下となった。総じて資源価格の下落が進行している。

【小売業・商店街】

東 部 地 区⇒ 鳥取の商店街では、新型コロナも落ち着きを見せ、花見客等の人出も多くみられた。飲食関係は賑わいが戻りつつあるものの、個店は新型コロナや物価高騰により売上への影響が続いている。鳥取県安心対策エリア版クーポン食事券事業が終了し、街区飲食店は今後の集客落ち込みが懸念される。宿泊は国内外の観光客が増加傾向にあり、好調の様子。小売業は引き続き光熱費などをはじめとするコストの上昇で業況見通しは厳しい。

中 部 地 区⇒ 倉吉の商店街では、年度末を迎え、コロナ禍以前並みの来街者数に近づきつつあるものの、購買意欲は完全には戻らず、コロナ禍以前の売上高まで回復に至らなかった。花見シーズンとなり、打吹公園ではイルミネーションなども点灯し人流回復に寄与した。倉吉出身力士の落合関が新十両で春場所を迎え、千秋楽には、倉吉銀座商店街にある打吹回廊を会場にパブリックビューイングを実施し、盛り上がりを見せた。今後も随時イベントを実施し、商店街の活性化を図る。

西 部 地 区⇒ 米子の商店街では、2月～3月の期間、高校生による元町通り商店街応援プロジェクトとして、これまでに行ってきたイベントやメッセージなどをまとめたボードを商店街の通りの一角に設置し、活性化を図った。広場を使ったイベントは4月より毎月開催を予定。4月29日には『サンロードマーケット#カレー部』の実施を予定している。

境港市の水産物小売では、春休みが始まるとともに境港に観光客が増え、売上高は前年同月比で増加した。今後境港へのクルーズ船寄港によるインバウンドの回復も見込まれるため、さらなる観光客の増加、売上の増加が見込まれる。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、例年より気温が高く天候にも恵まれ、入込数は例年より増加傾向で推移した。特に春休み頃より観光客の入込数はコロナ禍より大幅に増加となり、売上高も前月比、前年同月比ともに大幅に増加した。

米子市のホテル・旅館では、コロナの影響も改善してきており、学生の卒業旅行や歓送迎会等が増加したことにより、宿泊者数が増加したため、前月比の売上高は増加し、収益状況も好転した。前年同月比も売上高は大幅に増加し、販売価格の上昇により収益も好転した。業界全体では全国旅行支援の追い風や春の行楽シーズンとも相まって景況は好転した。

三朝温泉では、天候に恵まれ旅行支援や春休みと相まって宿泊客数が増加した。旅行支援延長による誘客効果はあるものの、割当額が旅館ごととなっており、4月以降は追加できないため早々に終了することが懸念される。

羽合温泉では、マスク着用等の緩和等による旅行に対する意識の変化や、全国旅行支援による相乗効果も見られ、3月の宿泊は大幅に増加し、売上高も前月比、前年同月比で増加となった。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を合わせて3,911台で前月比が約72%増加、前年同月比は約21%増加となった。中古車は873台で前月比が約70%増加、前年同月比は0.3%増加となった。継続検査（軽自動車を含む）は25,025台で前月比が約48%増加、前年同月比は約4%の増加となった。新車は年度末需要に供給が追いつき、大幅増加となった。中古

車と継続検査は例年と同様の動きとなった。

【建設業】

⇒ 2月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額37億円(前年同月比35.0%減)、件数77件(前年同月比21.4%減)となった。年度累計(令和4年4月～令和5年2月)は、請負金額675億円(前年同月比24.5%減)、件数1,462件(前年同月比9.1%減)となった。住宅投資は、単月は前年比マイナスとなるも、3か月平均はプラスを維持。設備投資と公共投資は引き続き低調な動きとなっている。公共工事の受注減や技術者等の人材不足に加え、建設資材やエネルギー価格の高騰に伴うコスト増に見合う価格転嫁も十分でなく、採算は引き続き悪化している。

2月の鳥取県新設住宅着工戸数は162戸(持家126戸、貸家36戸)で、前月比16%減少、前年同月比17%減少となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 3月の物流は、製造業等の出荷量は横ばいで推移し、年度末で引越し荷物の情報は例年より増加したものの全般に荷動きは低調な状況が続いている。復路荷物の情報量は増加しているが、県内への荷物は低調に推移しており空車で帰る車両も見られ、効率の悪い運行が続いている。売上は前月比で増加、前年同月比で減少となった。燃料価格の高値が引き続き収益に影響を与えるなど、厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 燃料価格については、前月より若干価格上昇しており、依然高止まり状態が長引き厳しい状況が続いている。年度末の引越しシーズンを迎えたことで売上高は前年比で増加となった。2024年問題や人員不足、燃料の高騰など業界を取り巻く問題が山積しており、先の見通せない状況が続いている。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業の推進に期待をしているので、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・過去に例を見ないほど新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・物価高対策や賃金アップに対する国や県の助成・補助を求める。【一般機器製造業】
- ・電力費の負担に対する十分な補助を求める。【金属熱処理業】
- ・現場に応じた支援メニューの充実及び補助金申請の簡素化を求める。【卸売業】
- ・エネルギー高騰や人材確保、外国人材確保のための住居等対策を求める【電子部品製造業】
- ・県民、市民のニーズをとらえた支援とするため、業種に偏りなくプレミアム商品券の発行を行って欲しい。【商店街】
- ・イベント時のトイレなど設備設置の対応。【商店街】
- ・長期的な景気支援策の継続を望む。【旅館業】
- ・電子クーポンの簡素化を望む。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との 増減幅
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
売 上 高	製 造 業	26.3	-36.8	-21.0	0.0	10.5	-21.0	21.0	-10.5	-15.8	-10.5	-31.5	-10.5	0.0	-26.3
	非製造業	52.6	10.6	21.1	10.5	0.0	0.0	-5.3	15.7	26.3	-10.5	-36.9	31.6	57.9	5.3
	全 業 種	39.4	-13.2	-5.2	5.3	5.2	-10.5	7.9	2.6	5.3	-10.5	-34.2	10.5	28.9	-10.5
在庫数量	製 造 業	10.3	0.0	10.5	15.8	21.1	5.2	5.2	-5.2	0.0	-10.5	5.2	0.0	0.0	-10.3
	非製造業	25.0	-8.3	8.4	8.4	0.0	-8.3	-8.4	8.4	8.4	8.3	8.4	8.3	16.7	-8.3
	全 業 種	16.2	-3.2	9.7	12.9	12.9	0.0	0.0	0.0	-3.2	-3.2	6.4	3.2	6.7	-9.5
販売価格	製 造 業	15.8	15.8	26.3	15.8	26.3	26.3	21.1	21.1	26.3	26.3	21.0	21.1	0.0	-15.8
	非製造業	10.5	15.8	26.3	26.3	36.8	26.3	5.3	31.5	42.1	26.3	10.6	15.8	15.8	5.3
	全 業 種	13.2	15.8	26.3	21.1	31.6	26.3	13.2	26.3	34.2	26.3	15.8	18.4	7.9	-5.3
取引条件	製 造 業	-5.3	-15.8	-15.8	-5.2	5.2	0.0	-5.3	-15.8	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	0.0	5.3
	非製造業	0.0	5.3	5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	0.0	-5.3	0.0	-5.3	-5.3	0.0	0.0
	全 業 種	-2.6	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	-2.7	-5.3	-7.9	-7.9	-5.3	-5.3	-7.9	0.0	2.6
収益状況	製 造 業	-15.8	-42.1	-36.8	-15.8	-15.8	-26.3	-15.8	-26.3	-36.8	-26.3	-31.6	-31.6	-5.2	10.6
	非製造業	26.3	-5.3	-10.5	-15.7	-15.8	-5.2	-15.8	10.5	15.8	-5.3	-31.5	0.0	21.1	-5.2
	全 業 種	5.3	-23.7	-23.6	-15.8	-15.8	-15.8	-15.7	-7.9	-10.5	-15.8	-31.6	-15.8	7.9	2.6
資金繰り	製 造 業	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-10.5	-5.3	-10.5	-5.3	-5.2	-21.1	-10.5	0.0
	非製造業	-10.5	-5.3	5.3	-15.8	0.0	0.0	-21.1	10.5	15.8	-15.8	-15.8	0.0	10.5	21.0
	全 業 種	-10.5	-7.9	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	-15.8	2.6	2.6	-10.5	-10.6	-10.5	0.0	10.5
設備操業度	製 造 業	5.3	-15.8	-10.6	5.3	5.3	-10.6	0.0	-10.6	10.5	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-5.3
雇用人員	製 造 業	0.0	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	-10.5	-5.3	-10.5	-10.5
	非製造業	5.2	15.8	21.1	0.0	0.0	15.8	-5.3	5.3	0.0	-5.3	-15.8	-5.3	0.0	-5.2
	全 業 種	2.6	2.6	7.9	-2.7	-2.6	7.9	-2.6	-2.6	0.0	-2.6	-13.2	-5.3	-5.2	-7.8
景 況	製 造 業	-21.0	-26.3	-21.0	-15.8	-10.5	-1.5	-26.3	-36.8	-31.5	-26.3	-36.8	-42.1	-26.3	-5.3
	非製造業	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	5.2	-26.3	0.0	15.8	0.0	-31.5	5.3	21.1	31.6
	全 業 種	-15.7	-21.1	-15.7	-15.8	-15.7	-2.6	-26.3	-18.4	-7.9	-13.2	-34.2	-18.4	-2.6	13.1

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2022年												2023年	前年との増減幅
		3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
売上高	製造業	-31.6	-31.6	-21.0	-10.5	5.3	5.3	0.0	-5.3	-10.5	-36.8	-26.3	-15.8	-36.8	-5.2
	非製造業	-21.1	26.3	57.9	26.3	31.6	31.5	47.4	26.4	0.0	5.3	36.9	31.6	31.6	52.7
	全業種	-26.3	-2.6	18.4	7.9	18.4	18.4	23.6	10.5	-5.3	-15.8	5.3	7.9	-2.7	23.6
在庫数量	製造業	5.3	-5.3	5.2	15.8	10.6	21.1	21.1	15.8	10.5	5.3	10.5	0.0	-10.5	-15.8
	非製造業	-8.4	16.7	33.3	25.0	16.7	25.0	-16.7	0.0	-16.7	8.3	16.7	16.7	16.7	25.1
	全業種	0.0	3.2	16.2	19.3	12.9	22.6	6.4	9.6	0.0	6.5	12.9	6.5	0.0	0.0
販売価格	製造業	26.3	21.1	42.1	31.6	42.1	42.1	47.4	47.4	57.9	47.4	31.5	36.8	21.0	-5.3
	非製造業	21.0	31.6	26.3	36.8	42.1	42.1	36.9	36.8	10.5	42.1	52.6	21.1	26.3	5.3
	全業種	23.7	26.3	34.2	34.2	42.1	42.1	42.1	42.1	34.2	44.7	42.1	28.9	23.6	-0.1
取引条件	製造業	-5.2	-21.1	-21.1	-5.2	0.0	0.0	-5.2	-15.8	0.0	0.0	-5.2	-5.3	-5.2	0.0
	非製造業	-5.3	5.3	-5.3	-5.3	5.3	-15.8	-5.3	5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-15.8	-21.1	-15.8
	全業種	-5.3	-7.9	-13.2	-5.3	2.7	-7.9	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-10.5	-13.8	-8.5
収益状況	製造業	-47.4	-42.1	-31.6	-21.0	-31.6	-36.8	-36.9	-47.3	-42.1	-42.1	-57.9	-63.2	-52.6	-5.2
	非製造業	-36.9	15.7	5.3	5.3	5.3	5.3	21.0	21.0	-5.3	-5.3	21.1	15.8	31.6	68.5
	全業種	-42.1	-13.2	-13.1	-7.9	-13.1	-15.8	-7.9	-13.1	-23.7	-23.7	-18.4	-23.7	-10.5	31.6
資金繰り	製造業	-21.1	-15.8	-15.8	-10.5	-21.1	-10.5	-5.3	-26.3	-10.5	-10.5	-15.8	-31.6	-31.6	-10.5
	非製造業	-26.3	0.0	-5.3	10.6	-5.3	-10.5	10.6	15.8	5.3	-5.3	5.3	5.3	5.3	31.6
	全業種	-23.7	-7.9	-10.5	0.0	-13.2	-10.5	2.6	-5.2	-2.7	-7.9	-5.3	-13.2	-13.2	10.5
設備操業度	製造業	-21.0	-21.1	-21.1	-5.3	-5.3	0.0	-10.6	-10.5	0.0	-15.8	-15.8	21.1	-15.8	5.2
雇用人員	製造業	-5.2	-10.5	-5.3	-5.3	-5.3	-5.3	-5.2	-10.5	0.0	5.3	-10.5	-10.5	-15.8	-10.6
	非製造業	-15.8	10.6	10.6	-5.3	-10.6	0.0	-5.3	0.0	-5.2	-15.8	-10.6	10.5	-5.3	10.5
	全業種	-10.6	0.0	2.6	-5.2	-7.9	-2.6	-5.3	-5.2	-2.6	-5.3	-10.5	0.0	-10.5	0.1
景 況	製造業	-31.5	-21.0	-15.8	-10.5	-21.0	-15.8	-15.8	-21.0	-10.5	-21.1	-31.6	-42.1	-42.1	-10.6
	非製造業	-36.9	-10.5	0.0	10.5	-5.3	5.3	10.5	15.8	21.1	5.3	-5.2	0.0	26.3	63.2
	全業種	-34.2	-15.7	-7.9	0.0	-13.1	-5.2	-2.6	-27.0	5.3	-7.9	-18.4	-21.1	-7.9	26.3

情報連絡員報告総括表(令和5年3月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況			
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化	
製造業	食料品	2	0	0	1	1	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	0	1	1	1	1	0	1
	繊維工業	1	1	1	1	2	0	0	3	0	0	0	1	1	1	0	2	1	0	3	0	0	0	3	0	0	2	
	木材・木製品	1	2	1	0	3	1	0	3	1	0	4	0	1	2	1	0	2	2	1	2	1	0	4	0	0	2	
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	1	0	1	
	出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	
	化学ゴム																											
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	
	鉄鋼・金属	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	1	1	0	2	0	0	1	
	一般機器	1	1	1	0	3	0	1	2	0	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	
非製造業	輸送用機器																											
	その他																											
	卸売業	19	6	7	6	2	15	2	2	15	2	1	17	1	4	10	5	1	15	3	3	13	3	0	17	2	2	10
	小売業	100%	31.6%	36.8%	31.6%	10.5%	78.9%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%	5.3%	89.5%	5.3%	21.1%	52.6%	26.3%	5.3%	78.9%	15.8%	68.4%	15.8%	0.0%	89.5%	10.5%	10.5%	52.6%	36.8%
	商店街	2	4	0	1	5	0	1	5	0	0	6	0	1	5	0	1	5	0				1	4	1	1	5	0
	サービス業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
	建設業	1	3	0	1	3	0	0	4	0	0	4	0	0	3	1	0	4	0				0	3	1	1	2	1
	運輸業	5	0	0				1	4	0	0	5	0	0	5	0	0	2	3	0			1	4	0	4	1	0
	その他	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1			0	1	0	0	0	1
		2	0	0				0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0				0	2	0	0	2	0
その他																												
	19	11	8	0	2	9	0	3	16	0	0	19	0	6	11	2	3	15	1				2	15	2	6	11	2
	100%	57.9%	42.1%	0.0%	16.7%	75.0%	0.0%	15.8%	84.2%	0.0%	0.0%	100.0%	0.0%	31.6%	57.9%	10.5%	15.8%	78.9%	5.3%				10.5%	78.9%	10.5%	31.6%	57.9%	10.5%
その他	38	17	15	6	4	24	2	5	31	2	1	36	1	10	21	7	4	30	4	3	13	3	2	32	4	8	21	9
	100%	44.7%	39.5%	15.8%	12.9%	77.4%	6.5%	13.2%	81.6%	5.3%	2.6%	94.7%	2.6%	26.3%	55.3%	18.4%	10.5%	78.9%	10.5%	15.8%	68.4%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	21.1%	55.3%	23.7%

情報連絡員報告総括表（令和5年3月分）

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回 答 数 38(100%)

1－2 業界の景気動向（前年同月比）

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	1	0	1	0	1	1	2	0	0	1	1	0	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2
繊維工業	0	1	2	1	2	0	1	2	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0	0	1	2	0	2	1	0	3	0
木材・木製品	0	0	4	0	3	1	0	2	2	0	3	1	0	1	3	0	1	3	0	2	2	0	4	0	0	0	4
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
出版・印刷	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0
化学ゴム																											
窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	1	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0
鉄鋼・金属	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	2	0	0	0	2	0	1	1	0	2	0	0	2	0	0	1	1
一般機器	1	1	1	0	3	0	2	1	0	0	2	1	0	1	2	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	1	2
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	3	6	10	1	15	3	7	9	3	1	16	2	1	7	11	0	13	6	3	10	6	0	16	3	1	9	9
100%	15.8%	31.6%	52.6%	5.3%	78.9%	15.8%	36.8%	47.4%	15.8%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	36.8%	57.9%	0.0%	68.4%	31.6%	15.8%	52.6%	31.6%	0.0%	84.2%	15.8%	5.3%	47.4%	47.4%
卸売業	1	4	1	1	5	0	2	2	2	0	5	1	1	5	0	0	6	0				1	4	1	1	4	1
小売業	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	0	1	0				0	1	0	1	0	0
商店街	1	3	0	1	2	1	1	3	0	0	3	1	1	3	0	0	4	0				0	1	3	1	3	0
サービス業	5	0	0				3	2	0	0	4	1	5	0	0	3	2	0				2	3	0	5	0	0
建設業	0	0	1				1	0	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1				0	1	0	0	0	1
運輸業	0	2	0				0	2	0	0	2	0	1	1	1	0	1	1				0	2	0	0	1	1
その他																											
19	8	9	2	3	7	1	7	10	2	0	15	4	8	9	2	3	14	2				3	12	4	8	8	3
100%	42.1%	47.4%	10.5%	25.0%	58.3%	8.3%	36.8%	52.6%	10.5%	0.0%	78.9%	21.1%	42.1%	47.4%	10.5%	15.8%	73.7%	10.5%				15.8%	63.2%	21.1%	42.1%	42.1%	15.8%
38	11	15	12	4	22	4	14	19	5	1	31	6	9	16	13	3	27	8	3	10	6	3	28	7	9	17	12
100%	28.9%	39.5%	31.6%	12.9%	71.0%	12.9%	36.8%	50.0%	13.2%	2.6%	81.6%	15.8%	23.7%	42.1%	34.2%	7.9%	71.1%	21.1%	15.8%	52.6%	31.6%	7.9%	73.7%	18.4%	23.7%	44.7%	31.6%

